

B級コーチ養成講習会(前期3日目、4日目)レポート

講習会3日目、4日目は2日連続の開催となりました。

前期3日目の12月5日(土)は、「プレーの分析」「コーチング法Ⅰ(プランニング)」、「コーチング法Ⅱ(コーチング)」の各講義を行い、それぞれグループワークを交えながら、計画的なトレーニングや選手が目標達成するためのコーチング手法、コーチとして必要なスキル・知識・考え方について意見を交わしました。その後、グラウンドで実技1「ポジション」と実技2「守備①」を行いました。

前期4日目の12月6日(日)は、午前中に実技3「前線の崩し」と実技4「フィニッシュ」を行い、実技を通じて選手目線でのトレーニングについても理解を深めました。

午後からはナショナルトレセンコーチ中国地域統括 YD の大畑 開インストラクターにコミュニケーションスキルの講義を行っていただきました。

問いに対して5W1Hを用いて聞くなど理由を明確にすることを話す手法など選手との接し方について学びました。

最後に集合写真を撮り、ソーシャルディスタンスや換気など感染予防対策をしっかりと行いながらの、充実した2日間を過ごしました。



～参加者の声～

今回は、プレーの原則などサッカーというスポーツの根幹を講義を通して理解することができた。

また、コミュニケーションについては、日頃からよほど意識して、対話を行おうとすることが求められていることを知ることができた。(40代 スポーツ少年団指導者)

実技、講義ともに充実した内容でした。普段の指導現場では、一人で悩むことが多いのですが、受講生の方々と分析や実技を行うなかで、同じ方向を向いて指導をする仲間の重要性に気付かされました。さらにサッカーの楽しさに触れることができました。(20代 県立高校サッカー部指導者)